

【韓国労働ニュース】

2017年3月前半号（1日～15日）

- 1日 三一節、裸足で立った1千人の釜山市民「少女像の移転は認めない」
*日本の植民統治に抵抗した3.1節と1272次水曜デモを迎えた1日。釜山の日本領事館前の千個の椅子に座った市民が、人間少女像となって靴を脱いだ。素足の市民は1分間踵を上げて、「少女像を守ろう」と、手にしたプラカードを堅く握った。
- 2日 二大労総、光復節に『強制徴用労働者像』建設を再推進
*強制徴用労働者像建設推進委員会は「歴史を記憶しようとする私たちの意志を決して折ることはできない」とし、8・15の光復節に『強制徴用労働者像』建設を再び推進する。
- 元・下請け労働者の労災統計、合算して公表
*国会環境労働委員会は産業安全保健法改正案を通過させた。現行法は、労働部が労災予防に必要と認める時にだけ、労災の現況を公表できるようにしているため、元・下請けの労働者が同じ場所で働く事業が増加しているのに、労災現況を一度に見られない。
- 飲食店の社長、バイク配達員に安全帽の支給を必須に
*雇用部が産業安全保健基準に関する規則を改正・公布した。事業主はバイクで配達する従業員に安全帽を必ず支給しなければならない。違反すれば5年以下の懲役もしくは5000万ウォン以下の罰金。
- 錦湖タイヤ・漢拏・メリッツ証券・・・『女性差別』企業名簿を初公開
*雇用労働部は女性労働者と女性管理者の比率が低調で、改善努力が顕著に不十分な26企業と1公共機関を『積極的雇用改善措置制度』違反事業場に選定し、この日初めて公表した。
- 『Sグループ労使戦略』被害者、解雇5年8ヶ月振りにサムソンに復職
*労働組合を結成したとして解雇されたサムソン労組の幹部が、不当解雇取り消し訴訟に勝訴して復帰した。1996年にサムソンエバーランドに入社したチョ副支会長は、2011年7月13日にサムソン労組の結成に参加して懲戒解雇された。同僚職員3人と3年余りの準備で作った労組は、『無労組経営』サムソンで最初の民主労組だった。なかまたちは「サムソンの労組破壊の歴史は終わった」と話した。
- 『国定教科書』の文明高校、葛藤長期化の兆し・・・被害はそっくり学生に
*全国で唯一、国定歴史教科書の使用を申請した文明高校で、対策委は仮処分申請など法的対応に入り、校長は「問題ない。学校の決定に従え」としている。既に4人の新生が辞退し、被害はそっくり学生たちに戻る。
- 3日 韓国労総『素早い動き』、大統領選挙方針を決定し、政策要求案を発表
*大統領弾劾審判が近付き、労働界も選挙体制に転換している。韓国労総は組合員総投票で大統領選挙支持候補を決め、2日には19大政策要求案を発表した。民主労総は定期代議員大会で政治戦略案が否決され、政策要求案の実践は遅々として進んでいない。
- 証券業の労使『退勤後のSNS禁止』に合意
*証券業種の労使が退勤後のSNSによる業務指示を禁止する統一団体協約を締結した。労働者の70%が、退勤後や休日にスマート機器で業務を行った経験があるという研究結果が出て、『退勤後の業務カカオトーク禁止法』という勤労基準法改正案が発議されるほど

で、通信の発達に合わせた労働者保護の必要性が高まる状況の中で、注目される。

全教組「今年は労働基本権を確保する」

*全教組が15～16日に法外労組撤回と専従者の許容を求めて48時間徹夜野宿座り込みに入る。「全教組は止まることのない闘いで、労働者・市民としてのすべての権利を差別なく享受できるように制度を変える」とした。

昨年15人が亡くなった大宇建設・大林産業は『産安法の無風地帯』

*大宇建設と大林産業が産業安全保健法に400件も違反していることが明らかになった。希望連帯労組、キム・ジンギュ、パク・テソン共同委員長体制に故ファン・ユミさん10年、サムソン労災死亡労働者の追慕行進

*白い防塵服を着た70人余りが道路に並んだ。防塵服は半導体・LCD工場に入る労働者が着る作業服。6日はファン・ユミさんが亡くなって10年目の命日。

4日 「憲裁は弾劾せよ、朴槿恵を拘束せよ」「90万の歓声」広場を一杯に

*「朴槿恵のいない3月、それでこそ春だ」。憲法裁判所の大統領弾劾案認容と拘束捜査、黄教案総理の退陣を求める声が週末の広場を満たした。ロウソク集会への参加者が延べ1500万人を突破した。

5日 353日振りの最後の出勤『労組破壊のない所へ』

*金属労組の故ハン・グァンホさんが『最後の出勤』をした。喪に服した仲間は『烈士精神継承』の黒い鉢巻きを締めて後に従った。

6日 全南教育庁も全教組の専従者2人を許可

*江原道教育庁に続き、全羅南道教育庁が全教組全南支部の労組専従者を許可した。法外労組でも労組専従者は認められるという大法院の判断に従った。

韓国労総「季節移住労働者制度、雇用を蚕食・人権侵害の憂慮」

*政府は農村の労働力難の解消を名目に試験運営した外国人季節労働者制度を、13日から全国に拡大する。農繁期に入国して、1～3ヶ月間を指定された農家で働いて、本国に帰る制度。

最低賃金を1万ウォンに引き上げて委託業者をなくそう

*清掃労働者行進準備委員会が、間接雇用の非正規清掃労働者が自分たちの要求事項を直接発表する席を用意した。「同じ場所で20年働いても、委託業者が変わるたびに再び新入社員になる。不安のない職場が必要だ」。「食費や福祉、正規職との差別をなくそう」という発言が続いた。

被災労働者の生活安定のための『優しい融資』

*勤労福祉公団が、月平均所得が3人世帯の中位(364万915ウォン)以下で、△労災死亡労働者の遺族、△傷病補償年金受給者、△障害等級第1～9級判定者、△労災創業店舗支援の確定者、△3ヶ月以上療養中の低所得被災労働者、△5年以上療養中の二硫化炭素(CS2)疾病の判定者などに融資をする。融資条件は2年から3年、分割償還、融資利率は年2%。

『私たちの学校が国定教科書を使うのですか?』学生も知らない『補助教材申

請』

*国定歴史教科書を補助教材で使うと申請した学校は、全国5500校の内83校に過ぎなかったが、文明高校事態が全国に広がるのが憂慮される。

7日 トプロ民主党予備候補ら「良質の雇用・労働権強化の一声」

*トプロ民主党はオーマイTVの生中継で、予備候補が参加する合同討論会を行った。

性別賃金格差の解消と良質の雇用の提供

*109周年3・8世界女性の日に、女性労働者が性別賃金格差の解消を要求して街頭に出る。

『3・8早期退勤デモ・3時STOP共同企画団』が『早期退勤デモ』を行う。

サムソン火災の部長はなぜ国家人権委を訪ねたか

*「国が定めた定年は60才、サムソン火災の定年は50才？」サムソン火災の職務解任によるリストラは『年齢差別』だとして、部長級で職務を解任された当事者が国家人権委員会に陳情を出した。

サムソンとパノリム、代理人団の非公開交渉も8ヶ月間『平行線』

*サムソン電子とパノリムが、昨年5月から代理人団を通じて職業病の被害補償に関して非公開交渉をしている。パノリムは「サムソン電子は職業病被害交渉に積極的に取り組まなければならない」と要求し、サムソン電子は「パノリムが交渉で要求事項を示さない」と主張した。

8日 民主労総「憲裁が弾劾を棄却すればゼネスト」決議

*民主労総は臨時代議員大会を行い、今年の事業計画を審議・議決した。ロウソク集会の精神を継承するために、今月中に組織を『最低賃金1万ウォン・非正規職撤廃・財閥体制解体・労働法全面改正ゼネスト闘争本部』に転換する。憲法裁判所が朴槿恵大統領の弾劾を棄却すれば、即刻ゼネストを組織する。今年、最低賃金1万ウォン実現のために市民・社会団体と一緒に、6月30日から7月8日までを社会的ゼネスト週間とし、最低賃金1万ウォン引き上げ闘争を集中する。

「朴槿恵のいない春」・・・弾劾宣告前日にロウソク文化祭を開催

*大統領の弾劾の宣告が10日11時に決まった。退陣行動は、弾劾宣告の当日まで弾劾認容要求集会を継続し、週末には20次ロウソク集会を行う方針。

3・8世界女性の日、女性労働者の理由のある『早期退勤』

*『3・8早期退勤デモ3時STOP共同企画団』が早期退勤デモ3時STOPの行事を行った。男性と賃金比較をした時、女性が約3時間は無料で働いているというのが理由。

「スキニージーンズに化粧は必須」・・・『細切れ労働』強要される女性バイト生

*アルバ労組が世界女性の日を迎えて『同一賃金同一労働同一化粧』の記者会見を行い、女性バイト生の労働実態を告発した。

造船所の構内下請け大量解雇『堤防が決壊した』

*民主労総蔚山本部と金属労組現代重工業社内下請け支会は「雇用労働部は、不法な整理解雇が強行される事態を予防・取り締まるために、造船所の下請け企業等を対象に全数調査をせよ」と主張した。

国民の7割「公共機関不良の原因は落下傘・官僚専横」公共輸送労組が調査
コレールの鉄道労組幹部大量懲戒への反撥拡大

*労組はソウル駅の待合室で、懲戒撤回を要求して2泊3日の座り込みを始めた。「公共性強化と公共部門成果退出制阻止市民社会共同行動」も17日まで、ソウル駅の前で懲戒撤回を要求する一人デモを行う。

心理相談用紙に記録された特性化高・現場実習生の『残酷な』職場

*「成果の負担で、顧客の相手にしようとするばストレスを受けます」「出勤するたびに不

安です」。今年1月24日、全州市の貯水池で死体で発見されたH(19)さんと一緒にLGU+の全州顧客センターで働いた友達の話だ。センターの現場実習生の大部分が、感情労働や営業実績のために激しいストレスに苦しめられていると確認された。センター側は「異常の兆候はなかった」と反論している。

労働部長官「建設技術力は世界最高なのに、安全は劣悪」

*李基権長官は建設業安全保健リーダー会議で「建設業での死亡者が2年連続増加した」とし、「最高経営陣が関心傾けて欲しい」と、産業災害の予防を要請した。

国定教科書補助教材、申請校が次々取り消し

9日 教育界「初等国定歴史教科書は不良教材」

*全教組と「韓国史教科書国定の災い阻止ネットワーク」が、今年発行された小学6年の歴史教科書改訂版を検討した結果、「深刻な偏向性がほとんど修正されていない」と批判した。

ソウル市、鍾路に労働尊重文化ランドマークを作る

*ソウル市が全泰壺橋の近くに労働複合施設を作って、労働尊重文化ランドマークにする。

109周年3・8女性の日「すべての差別を撤廃せよ」

*労働界と女性団体は109周年3・8世界女性の日の記念行事で、女性の労働基本権強化と良質の雇用創出を求めた。野党圏の主な大統領候補は、韓国女性団体連合の主催で開かれた韓国女性大会に参加し、『性平等マイク』を握って両性平等内閣と性別賃金格差の解消を約束した。

女性金融労働者の権益向上のために集まりました

*金融労組が3・8世界女性の日に「女性委員会」を結成して公式活動に入った。

昨年の災害率が最低値・・・労働界は「統計の虚点、実際は遙かに深刻」

*産業災害が減少傾向を見せ、昨年の産業災害率と死亡者の比率が、統計作成以来最低値を記録したという政府の分析が出た。しかし政府の統計方式に問題があり、労災保険未加入者が多く、実際の産業災害の現実はもっと深刻だと指摘された。

ノ・フェチャン議員、日本で『韓国サンケン』労働者激励、『解雇撤回』支援

*正義党のノ議員は韓国サンケンの整理解雇問題解決のために日本を訪問し、サンケン本社周辺で整理解雇の不当性を知らせる広報活動を行った。

10日 非常国民行動「弾劾を確信、棄却されれば全国民抗争」

*非常国民行動は「弾劾認容を求め、以後の新しい大韓民国を作るためにロウソク市民が額を合わせる緊急行動を11日まで展開する」と宣言した。10日は憲裁の前で集会を行い、弾劾審判の生中継を視聴する。認容されれば立場を発表する記者会見を行い、大統領府に向かって行進し、午後に『国民勝利』ロウソク文化祭を開催する。

憲裁、朴槿恵大統領の弾劾認容を決定・・・裁判官の全員一致で

退陣行動「朴槿恵弾劾、主権者の勝利を宣言する」

*朴槿恵政権退陣非常国民行動が『ロウソク抗争勝利宣言文』で、「今日私たちは主権者の勝利を宣言する」とした。「市民が勝利した。今日憲法裁判所が朴槿恵を罷免したのは、市民の意志を受け容れたもので、弾劾したのはまさに私たち」と強調した。

1587万のロウソクが独裁者朴槿恵を弾劾した

*2016年10月29日の初めての集会から2017年3月4日の19次集会まで、延べ1587万人が毎週末ごとに掲げたロウソクは、朴槿恵大統領の国政壟断で深まった大韓民国の暗い夜を

明るく照らした。解放以後、最長期間、最大規模が参加した抗争だった。大統領の弾劾を導いたロウソク革命の主役は、韓国の民主主義の歴史を越えて、世界史の1ページを自ら書いた。

公共機関の機能調整・成果年俸制、中断はない？

* 政府が『2017 公共機関長ワークショップ』を開催し、公共機関の機能調整と成果年俸制の拡大を引き続き推進すると明らかにし、労働界の反撥が予想される。ファン大統領権限代行は「昨年に公企業・準政府機関が成果年俸制導入を完了したので、今年は成果年俸制が支障なく施行されるように万全を期す」と話した。

「我々の手で生かそう」破産したウリム建設を再建した労組

* 建設業界で初めて、労働組合が破産した会社を再建した。昨年8月破産したウリム建設の労組員は十匙一飯の金を集めて法人を設立し、会社を再建した。

蔚山科学大の清掃労働者の座り込みが1千日に、解決は『暗い見通し』

* 賃金引き上げを要求して始めた清掃労働者の座り込みが1千日になる。委託業者が変わって解雇された。「真の使用主である大学と最後まで闘って、原職に復職する」とした。

昨年1777人が仕事で命を失った

* 雇用労働部が2016年度産業災害現況集計結果を発表した。全被災者は9656人で、2015年より527人増えた。死亡者は1777人で、前年より33人減った。事故による死亡者は969人で、疾病による死亡者は808人だった。

11日 大統領府上空で炸裂した『勝利の爆竹』 「1600万のロウソクが勝った」

* 大統領府が正面に見える光化門広場の上空に『勝利の爆竹』が炸裂した。広場を満たした65万人の市民が勝利を祝った。市民は「弾劾は終わりではなく始まり」。「ロウソクの方で積弊を清算し、新しい大韓民国を作ろう」と一緒に叫んだ。

福島原子力発電所事故から6年「弾劾の次は脱核だ」

* 核のない社会共同行動は光化門広場で、『2017 福島原子力発電所6周年脱核蝶々行進』を開催し、「2017年は脱核を始める年にしよう」と声を挙げた。

12日 造船業退職者「経歴30年なのに最低賃金とは……」

* 造船業の退職者を対象にした初めての採用博覧会が蔚山市で開かれている。求職者は1200余人で、41人が仕事を見付けた。

13日 朴槿恵弾劾ロウソク『積弊清算ロウソク』として再点火

* 非常国民行動は、今月25日と世越号惨事3年の来月15日に大規模集会を開催し、最低賃金1万ウォン引き上げと世越号惨事の真相究明を求める。

「労働積弊清算の出発点」 歓迎

* 大統領罷免の決定に、韓国労総・民主労総など労働界は一斉に声明を出し、弾劾を契機に労働積弊を清算しなければならないと声を合わせた。一方、財界は「決定を尊重する」として国家安定のための和合を求めた。

労働部、大統領弾劾翌日に緊急雇用労働点検会議

* 労働部は賃金未払い・最低賃金違反の取り締まりを始め、基礎雇用秩序の確立に万全を期すとした。長官は「国政と民生安定のために総力を挙げて欲しい」と注文した。

韓国労総、来月10～25日に大統領選挙支持候補決定の総投票

14日 経済危機の時に労組の好感度高まる

* 『グローバル金融危機以後、労働組合の道具的役割に対する勤労者の認識変化に関する研究』論文で、労働組合の組織率は10%のドロ沼を抜け出せないが、労組が必要だと考える国民は増加していると分析された。2008年のアメリカ発世界金融危機を経た後からは、労組が必要だという組合員・非組合員の認識が高まった。

民主労総「新政府と労一政の直接交渉推進」

* 民主労総は「朴槿恵と財閥、国政壟断の共犯者が作った積弊を清算・改革できなければ、ロウソク革命は再び未完の革命として記録される」。「積弊解消のために、大統領選挙以後の新政府に労政の直接交渉を要求する」とした。教師・公務員と特殊雇用職に労働三権を付与する労働基本権の拡大と、成果年俸制、一般解雇指針の白紙化も要求する。

公務員たち「国政壟断を防ぐことができず、申し訳ありません」

* 公務員たちが頭を下げた。公労総は「公務員が国政壟断を防ぐことができなかったことを謝罪する」。「政権の一部の奉仕者でなく、国民全体のための公益を追求し、再びこのようなことが繰り返されないように公職社会の積弊を清算する」。「新しい政権が民主主義を実現するように牽制と監視機能を強化し、制度的装置を用意する」と約束した。

「労働時間・賃金を減らして青年の雇用を増やそう」公共輸送労組が初の提案

* 労働界が賃金削減を甘受する労働時間の短縮を提案したのは今回が初めて。

20代の青年1万1千人を路上に追い出した造船業リストラ

『4月5日』に世越号引き揚げの試み・・・手続きと成功の可能性は？

ヨーロッパ初の少女像が撤去の危機・・・日本、『慰安婦合意』を根拠に猛攻撃

15日

文在寅の『労働会議所』提案に交錯する二大労総

* 文在寅氏が検討している労働会議所に、民主労総は「労組の無力化を招く」と批判し、大統領選挙の政策公約として労働会議所設立を要求した韓国労総は「未組織労働者を保護する現実的代案」と反論した。労働会議所は中小・零細非正規職と特別雇用労働者など、労組が組織されない労働者を加入対象にする機構。

野3党の大統領候補「労組と共に公共部門を変える」

* 公共輸送労組が、公共機関の運営改革と良質の雇用拡大、民営化中断を内容にする大統領選挙政策要求案を提案すると、野3党の主な大統領選挙予備候補側が共感を示した。労組は「国政壟断は公共機関全般にわたって持続的で広範囲になされた」。「韓国の社会改革で、公共機関改革は最優先に扱われなければならない」と話した。

民主労総の闘争事業場労組が全国巡回

* 金属労組ハイデイス支会、コルト・コルテク支会と東洋セメント支部など10の闘争事業場労組が、大統領選挙の局面で整理解雇・非正規職問題の深刻性を社会に知らせるために、20日から24日まで全国巡回闘争を行う。

妊婦公務員の夜間・休日勤務制限、男性には出産休暇を保障：服務規定を改正